



## 昭島市民くじら祭りで自衛隊の魅力発信

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は8月26日、27日の2日間、4年ぶりに昭和公園陸上競技場において開催された50周年記念昭島市民くじら祭に参加した。

このイベントは、多摩川河川敷で新種のくじらの化石が発見されたことにその名を由来し、昭島の夏を彩る風物詩となっており、会場には、模擬店やゲームコーナー、アクションステージが設置され、開場と同時に熱気が一気に湧きあがり、2日間を通して活況を呈した。

自衛隊のブースでは、昭島市自衛隊家族会、昭島市防衛協会、自衛官募集相談員連絡協議会立川支部の3団体協力の下、VR体験、的当てゲーム、体験試着などで会場を盛り上げた。

ブースに訪れた来場者からは、「緑とグレーと青の迷彩服の色の違いは何？」「どこの駐屯地から来たの？」等、質問が飛び交い、広報官が丁寧に質問に答え交流を深めた。中には、過去に災害現場などで自衛隊の入浴施設を使用したという来場者から、感謝を告げられる一幕もあった。

立川出張所は、このような地域に根ざした広報の場も活用しながら、自衛隊の魅力発信を継続し募集業務に邁進していくとしている。

